

## 南町松寿会50周年を祝して



南町松寿会会長 亀谷 千代子

新型コロナと年末からの大雪に見舞われた新年となりました。

会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。日頃より松寿会の事業にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

今年度、南町松寿会は発足50周年をむかえました。昭和45年に念寿会として発足した記録が残っておりまして、南町町内会ができて間もなく有志の方々のお力により老人クラブが誕生したことになります。

歴代の会長様はじめ役員や会員の皆様のご協力により50年の歴史が刻まれたことは感慨深いものがあります。浅学な私が平成13年に宗川金之氏より会長を引き継ぎ、その後、山形市老ク連会長、山形県老連会長、全老連評議員などの大役を務めることになり福祉にかかわることを学ばせていただきました。全く想定外のことで自分自身が驚いているところでございます。これも偏に皆様方のご指導とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、今年度は新型コロナウイルスの感染予防のため、すべての行事が自粛や中止になり50周年の記念行事も実施できませんでしたので、松寿会だより50周年記念号を作成し、記念品として防災ラジオをお配りいたしますのでご活用ください。11月に山形県で開催する予定でありました第49回全国老人クラブ大会も残念ながら中止になってしまいました。

コロナ禍による、認知症やフレイル予防のため「地域のつながり」「支え合い」「生きがづくり」がますます重要になってまいりますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。

加えまして、南町松寿会の会員加入促進のためご近所の方への声掛けを重ねてお願い申し上げます。

## 松寿会50周年を記念して

南町町内会会長 相馬 克正

松寿会の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この1年の町内会活動を振り返りますと、新型コロナウイルスに翻弄された年といえると思います。松寿会にとっても、全国老人クラブ大会が山形県で開催される予定でしたが、新型コロナウイルスのため今年度の開催は見送られてしまいました。

それでも、南町町内会は松寿会との連携で、輪投げや百歳体操そして、ふれあい散歩などを行い町内会活動の継続を試みてきました。

今年度は、松寿会発足50年目との事で、亡き父が松寿会に関わっていたことを知っていたので、押し入れから父の残した書類や写真などを取り出したところ、何と、松寿会広報1号を手書きのガリ版刷で発行していたことを知りました。

その広報と一緒に出てきた資料によれば、昭和45年(1970年)8月27日に大明蕎麦屋を会場として念寿会を発足し、昭和54年(1979年)6月3日の総会にて松寿会と改名したとあります。初代会長は、今野金次郎氏で1年後に菊池五郎氏へそして高野岬氏その後、相馬貞一氏、宗川金之氏そして現在、亀谷千代子氏へと引き継がれてきました。

菊池五郎氏の記録によれば、始めは老人クラブ活動に集まる場所もなく飛鳥道場をお借りした、とあります。そして、「年を取ると昔のことばかり恋しく、家に引き込んでお茶のみばかりの暮らしになり、だんだん体も頭も衰えてきます。皆さん、松寿会の仕事には進んで参加し、常に明るく伸び伸びした生き方をしようではありませんか」と言っています。これは、今でも変わりません。ある人は、「高齢者がこたつ係長となってしまう」と表現していましたが、言い得て妙です。

私たち高齢者が伸び伸びとした生き方を模索することで、次の時代の地域社会に貢献することにもつながります。

このコロナもいずれ収まります。

もう少しです。それまでに少なくとも体力の低下(フレイル)を抑えるためにも、つま先立ち体操やインターネットのユーチューブで百歳体操などをご自宅で行ない、このコロナ禍を乗り切る努力をいたしましょう。インターネットなど知らない等と言わずたまには、町内会のホームページも見てください。しばらく百歳体操の紹介を表示したいと思います。



松寿会 かつての若かりしゲートボール部員の面々



# 南町松寿会50年の歩み

- 昭和45年  
大明そばやで14名の評議員により「念寿会」発足 会長：今野金次郎
- 昭和46年  
ニュー蔵王山荘にて念寿会総会 会長：菊池五郎
- 昭和50年  
会旗と会歌を作る 会長：高野 岬
- 昭和54年  
総会において会名を「松寿会」とする。
- 平成元年 会員数91名  
山形市市制100周年において優良老人クラブの表彰 会長：相馬貞一  
を受ける。
- 平成2年  
松寿会だより第1号 創刊
- 平成4年  
第六地区老ク連会長に相馬貞一会長が就任
- 平成5年 会員数88名  
県知事より第6地区老ク連が感謝状を得る  
1円玉募金を始める。
- 平成6年 会員数113名  
松寿会だより創刊5年目 第9号になる。  
山形市老人体育リクレーション大会開催 14名参加
- 平成7年  
亀谷副会長 松寿会だよりの担当となる。 会長：宗川金之
- 平成10年  
80歳敬老者に紅白餅と座布団を贈る
- 平成11年 会員数107名  
山形市制110周年 善行賞受賞
- 平成13年 会員数109名  
山形市老人クラブ大文化博覧会 会長：亀谷千代子  
山形市老ク連第28回老人の主張 亀谷千代子氏優秀賞受賞
- 平成14年 会員数111名  
ふれあいいきいきサロンの開催 年4回
- 平成19年 会員数106名  
第六地区の老ク連クラブ数は9クラブ  
総会欠席者に「マート舟越の商品券500円」を進呈
- 平成22年 会員数93名  
山形市老ク連50周年記念式典、ワナゲ、芸能交流大会
- 平成23年 会員数86名  
第六地区の老ク連クラブ数は4クラブに減少  
松寿会だより第30号よりパソコンでの編集になり表紙がカラー  
全国老人クラブ創立50周年記念大会（東京で開催、天皇皇后両陛下  
ご臨席）東日本大震災救援金 30,000円（1円玉積立金より拠出）

山形市南町内会念寿会第2回総会  
6月24日 午後5時  
昭和46年度 事業概要報告  
8月21日 三役会議を開き、役員改選・評議員会開催・総会の案件につき準備を行った。  
8月28日 評議員会を開き、役員改選を行い、尚総会についての協議を行った。  
9月12日 ニュー蔵王山荘に於て、総会を行い、諸役員の決定をした。後、懇親会をした。尚この総会に顧問の参加を得る努力をした。  
11月21日 会員の長老 佐竹仁三郎氏 11月20日逝去により11月25日 会長及び大塚副会長葬儀に出席弔意を表した。



# 南町松寿会50年の歩み

- 平成24年 会員数93名  
南公園清掃の奉仕活動で山形市より表彰 会長：亀谷千代子  
松寿会だよりオールカラー版となる
- 平成26年 会員数80名  
亀谷千代子氏、山形市老ク連会長に就任。  
町内の単身高齢者を対象に笹巻づくりに協力
- 平成29年 会員数69名  
亀谷千代子氏、山形市老ク連会長を退任し、山形県老連会長に就任
- 平成30年  
南町町内会50周年 町内会会員全家庭に記念紅白饅頭を贈る。
- 令和元年 会員数65名  
南町松寿会が山形県老連会長表彰を受ける。
- 令和2年 会員数62名  
山形市老ク連 設立60周年  
南町松寿会 発足50周年 会長：亀谷千代子  
新型コロナウイルス感染予防のため集団での祝賀会などの行事が中止になった。50周年記念として松寿会会会員には松寿会だより40号の発行と記念品（防災ラジオ）の贈呈を行った。



## 1円玉募金ってなーに

“ちりも積もれば山となる”の例え通り、一円だけでは利用価値が小さいが、一円も集まれば大いに利用価値が高まるという事で、南町松寿会では平成5年に始めました。これまでも災害時などの支援や火災見舞いなどに使わせていただいております。  
今後も、皆様のご協力をお願いいたします。

